

【学歴】

平成 11 年 3 月 専修学校熊本 YMCA 学院 生涯スポーツ科 卒業
平成 15 年 3 月 西日本リハビリテーション学院 理学療法学科 卒業
平成 28 年 4 月 畿央大学大学院 健康科学研究科 健康科学専攻 修士課程 入学

【職歴】

平成 15 年 特定医療法人整肢会 副島整形外科病院・クリニック 入職
平成 22 年 福岡国際医療福祉学院 理学療法学科 非常勤講師（～平成 24 年）
平成 24 年 特定医療法人整肢会 副島整形外科病院・クリニック 退職
平成 25 年 学校法人国際学園 九州医療スポーツ専門学校 理学療法学科 入職
医療法人 西川整形外科医院 非常勤（～平成 26 年）
学校法人国際学園 九州医療スポーツクリニック 副院長 就任 現在に至る



【資格】理学療法士，専門理学療法士（運動器）

【活動等】

医療従事者等に対する教育・講演を年間 50 本程度実施 冬季国民体育大会スキー競技 トレーナー帯同
体表解剖学研究会 運動器系体表解剖セミナー 実技講師
NPO 法人 日本セラピスト認定協会 理事 公益財団法人 日本健康スポーツ連盟 評議員

【論文・著書】

理学療法. 高齢者の胸部の機能障害と理学療法. 2015 年 32 巻 7 号
臨床スポーツ医学. スポーツ障害理学療法ガイド. 2014 年年臨時増刊号 31 巻
極める変形性膝関節症の理学療法. 文光堂. 2014 年
理学療法. 特集 変形性膝関節症の理学療法における足底挿板の活用. 2011 年 28 巻 3 号.
理学療法. 講座 関節病態運動学: 7 関節の病態運動学と理学療法Ⅲ. 2007 年 24 巻 4 号.
理学療法. 講座 関節病態運動学: 16 足関節の病態運動学と理学療法Ⅲ. 2008 年 25 巻 2 号.
理学療法. 下腿・足部疾患の理学療法における運動制御・学習理論. 2009 年 26 巻 7 号.
ブラッシュアップ理学療法-88 の知が生み出す臨床技術. 三輪書店
理学療法ハンドブック【改定第 4 版】 第 1 巻 理学療法の基礎と評価. 共同医書出版社
実践 MOOK 理学療法プラクティス 大腿骨頸部骨折. 文光堂
実践 MOOK 理学療法プラクティス 変形性関節症. 文光堂 など

【学会発表】

フルマラソン走者における練習状況とフルマラソン後の身体特性. 第 26 回日本臨床スポーツ医学会学術集会
フルマラソン完走者の身体特性～疼痛発生状況とケア後の身体変化について～. 第 25 回日本臨床スポーツ医学会学術集会
肩関節周囲炎患者の疼痛に対する破局的思考が機能面に影響するか. 第 11 回 肩の運動機能研究会
肩関節周囲炎症例に対する理学療法前後の疼痛. 破局的思考及び治療成績の関連性. 第 19 回日本ペインリハビリテーション学会
変形性膝関節症の重症度と疼痛・心理面の関連性. 第 33 回九州 PT・OT 合同学会
整形外科疾患患者における疼痛と心理面の関連性. 第 46 回日本理学療法学術大会.
股関節部痛に対し足底板にて効果を認めた一例. 第 32 回九州 PT・OT 合同学会.
腱板断裂症例の術前健康関連 QOL 尺度と術中所見との関連性. 第 45 回日本理学療法学術大会.
立位回旋運動と股関節回旋の関連性. 第 31 回九州 PT・OT 合同学会.
肩関節術後の末梢循環障害に対する客観的評価の試み. 第 43 回日本理学療法学術大会. など